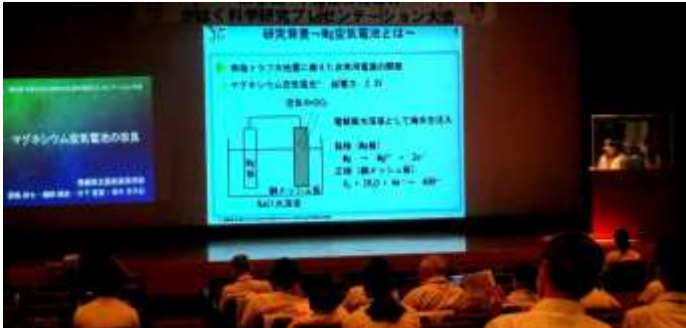


「なぜ」から始まる科学的思考文化の進化

西条高校は、平成30年度から5年間、文部科学省が指定するSSH(スーパーサイエンスハイスクール)に選ばれました。「なぜ」から始まる科学的思考文化の進化を重点努力目標として教育活動を行っています。

■ かはく科学研究プレゼン大会



7月24日(金)に愛媛県総合科学博物館で「第6回かはく科学研究プレゼンテーション大会」がありました。「ポスター部門」と「ステージ部門」の両部門に、本校からは4作品が参加しました。感染症拡大防止のため、ポスター発表の一部が中止になりましたが、ステージ部門は予定通り実施されました。審査の結果、「ポスター部門」「ステージ部門」ともに最優秀賞をいただきました。



■ えひめサイエンスリーダースキルアップ(化学)



7月18・19日に愛媛大学で、「えひめサイエンスリーダースキルアッププログラム(化学分野)」の研修会がありました。本校からは、2班9名が参加しました。研修では、水蒸気蒸留でクスノキから抽出したショウノウを分析しました。また、班ごとに研究計画を発表しました。来年2月7日の研究・発表に向けて実験を進めていきます。

■ えひめサイエンスリーダースキルアップ(生物)



7月25・26日に愛媛大学で「えひめサイエンスリーダースキルアッププログラム(生物分野)」の研修会がありました。本校からは1班4名が参加しました。研修では、ファストプランツのDNAをPCR法で増幅させ、電気泳動で確認しました。また、統計分析フリーソフト「R」を用いた統計データ処理についても学びました。化学分野同様、来年の2月7日の発表に向けて、研究・実験を進めていきます。



■ 専門講座・地域理解リレー講座



7月16日(木)6限目に、3年生対象の「専門講座/地域理解リレー講座」がありました。講師は、徳島文理大学理工学部機械創造工学科の樋口峰夫教授と西条市市民協働推進課の松本聖也氏、健康医療推進課の村瀬瑠美氏でした。樋口教授には、動力を使わずに重いものを運ぶことを手助けするロボット製作について講義をしていただきました。また、松本氏と村瀬氏からは、西条市の市民協働のまちづくりや西条市の保健医療についてのお話があり、地域理解が深まりました。